

チェック項目	A.(できる・ある)	B.(だいたいできる だいたいある)	C.(あまりできない・あまりない)	D.(できない・ない)
--------	------------	-----------------------	-------------------	-------------

I・基礎的日常生活

1	日常生活のリズム	起床、食事、睡眠など、規則正しい生活が自分で行える。	規則正しい生活がだいたいできる。家族等の支援でできる。	規則正しい生活があまりできない。家族等の支援でもあまりできない。	規則正しい生活ができない。
	起床、食事、睡眠などの生活リズムは規則正しい。				
2	健康状態	健康状態は良い。	健康状態はだいたい良い。家族等の支援により、概ね健康状態を保っている。	健康状態はあまり良くない。家族等の支援でもあまり良くない。	健康状態は悪い。
	健康に気をつけ、良好な体調を保っている。				
3	感情の安定性	自己コントロールを含め、感情は安定している。	右記の行動がたまにあるが、自分で安定させることができる。	右記の行動が時々見られるが、周囲の助言で安定する。	大声を出す、泣く、暴れる、反抗的になる、沈み込むなどの行動が頻繁にある。
	感情のコントロールができ、安定している。				
4	身だしなみ	場に応じた身だしなみはいつもきちんとしている。	身だしなみはだいたいきちんとしている。	身だしなみをあまり気にしない。指摘されれば改める。	常に指摘や支援が必要である。
	場に合った服装をしている。整容ができ、清潔を保っている。				
5	電話等の利用	状況に応じた電話等の利用ができる。	電話等で簡単な内容であれば連絡、対応ができる。	電話等での連絡、対応は要領を得ない。	電話等を使って連絡、対応はできない。
	用件を伝えるのに電話、メール、FAXを利用できる。				
6	金銭管理	小遣い、給与等お金を計画的に使うことができる。	お金を計画的に使うことがだいたいできる。時々赤字を出す。	お金を計画的に使うことがあまりできない。赤字を出すことが多い。	お金をすぐに使ってしまう。お金を大事にしない。
	小遣い、給与等を計画的に使う、必要な物を買う、保管するなど金銭管理ができる。				
7	交通機関の利用	通勤、通学時に交通機関を一人で利用できる。不測の事態に対処できる。	交通機関を2～3回の練習で利用できる。想定される不測の事態に対処できる。	迷いやすく、当分の間は付き添いが必要である。不測の事態に対処できない。	交通機関を一人では利用できない。
	通学(通所、通勤)に交通機関を一人で利用できる。				
8	出席・出勤状況	遅刻・早退・欠席・欠勤がない。作業中の不調はない。	遅刻・早退・欠席・欠勤が月1～2回ある、または作業中に不調を訴えることがたまにある。	遅刻・早退・欠席・欠勤が月3～4回ある、または作業中に不調を時々訴える。	遅刻・早退・欠席・欠勤が月5回以上ある。作業中に不調を訴えることが多い。
	正当な理由(通院、病気、電車の遅れ等)のない遅刻・早退・欠席・欠勤がなく、安定した作業ができる。				
9	ルールの理解・遵守	所属する社会の規則やルールを理解し、守ることができる。	ルールを理解しているが、たまに守らないことがある。	ルールをあまり守らないが、指摘されれば修正できる。	ルールを理解できず、守ることができない。指摘されても修正が難しい。
	規則や、決められた事を守る。				

II・対人関係

1	挨拶・返事・お礼・言葉遣い	相手や場に応じた挨拶・返事・お礼・言葉遣いができる。	きまった挨拶・返事はできる。	相手から挨拶されれば応じることができる。	挨拶・返事・お礼・言葉遣いがない。
	相手や場に応じた挨拶・返事・お礼・言葉遣いができる。				
2	謝罪	自分のミスに気づき、謝罪することができる。	促されるとミスに気づき、謝罪することができる。	促されてミスに気づくが、謝罪することができない。	自分のミスに気づかず、謝罪することができない。
	自分のミスに気づき、相手に対してきちんと謝罪することができる。				
3	コミュニケーション	その場に応じた会話ができる。	会話に入るが、話がかみ合わないことがたまにある。	話しかけられれば答えるが、自分からは話しかけない。	会話ができない。会話に入ろうとしない。
	会話に参加したり、意思疎通ができる。話について行くことができる。				
4	意思表示	質問や意見、体調悪化、トイレなど、意思表示が適切にできる。	意思表示がだいたいできる。	相手や内容によっては意思表示ができない。	意思表示ができない。
	自分の意思(質問や意見、体調悪化、トイレなど)を相手に伝えることができる。				
5	協調性	協調性はある。	協調性は普通である。	協調性はあまりない。共同や分担がスムーズにできない。	協調性はない。他人とのトラブルが多く、個別の対応が必要である。
	お互いの個性を認めあい、他人と力を合わせて助け合うことができる。				

III・作業力

1	体力	体を使う作業を続けて7～8時間できる。	体を使う作業を続けて6時間程度できるが、時々疲れた様子を見せる。	体を使う作業は半日(3～4時間)できる。	体を使う作業はほとんどできない(3～4時間以下である)。
	1日(7～8時間)を通して作業ができる体力がある。				
3	指示内容の理解・遵守	口頭指示を理解し、守ることができる。理解したことは忘れない。	口頭指示を理解し、だいたい守る。手順書やメモがあれば指示を忘れることはない。	モデリングで手順を示せば理解できるが、時々確認が必要である。	手添えで繰り返し指示をしてもなかなか理解できず、すぐに忘れる。
	指示通りに作業する。				
4	正確性・確実性	正確な手順で、ミスなく確実な作業ができる。規格を維持できる。	正確度80%程度である	正確度70%程度である	正確度70%以下である
	正確な手順で、確実な作業をする。				
5	判別力	部品や不良品の判別能力が高い。	部品や不良品の判別は平均的である。	部品や不良品の判別があまりできない。	部品や不良品の判別ができない。
	不良品等を判別する。				

6	修正力	自分で間違いに気づき、修正できる。	時々気づかないことがあるが、指摘を受けると自分で間違いを修正できる。	具体的な指示があれば、自分で間違いを修正できる。	自分で間違いを修正できない。
	不具合に気づき、修正する。				
7	巧緻性・器用さ	細かい作業ができ、作業の質、量とも高く、支援者と同等程度である。	作業の質、量は概ね高く、支援者の80%程度である。	あまり器用ではなく、質を目標指すと量が少なくなる。支援者の60%程度である。	器用とはいえず、質にバラつきがある。
	器用に作業する。				
8	器具・道具の使用	機器・道具を正しく使える。	機器・道具をだいたい正しく使える。手順書やメモがあれば使える。	機器・道具をあまり正しく使えず、見守り、助言を要す。	機器・道具を正しく使えない。
	作業機器や道具類を教えられた通りに正しく使える。				
9	作業速度	支援者の80%程度である。	支援者の60%程度である。	支援者の40%程度である。	支援者の20%程度である。
	必要とされる作業速度(支援者の作業速度)がこなせる。				
10	作業能率	慣れるにつれ、作業能率は著しく向上する。	慣れるにつれ、作業能率は向上する。	作業能率はあまり向上しない。	作業能率は上がらず、低下することもある。
	作業能率が向上する。				
11	習熟	どの作業も習熟できる。	どの作業もだいたい習熟できる。	特定の作業であれば、時間はかかるが習熟できる。	習熟はなかなかしない。
	作業に習熟する。				
12	適応性	急な作業、環境の変更に対応できる。	予告すれば作業、環境の変更に対応できる。	作業、環境の変更に抵抗感があり、なかなか対応できない。	作業、環境の変更が理解できず、作業ができなくなる。
	作業の環境、内容、手順等の変化に対応できる。				
13	危険への対処	危険を認識し、身を処せる。危なくないように作業ができる。	危険な状況を理解しているが、時々守れないことがある。	危険な状況をあまり理解できず、安全な行動ができない。	危険な状況が判断できない。禁止事項を理解できない。禁止事項が守れない。
	危険と教えられたことをせず、自身の安全を考えて行動する。				

IV・作業態度

1	質問・報告・連絡・相談	質問・報告・連絡・相談が適切なタイミングにできる。	質問・報告・連絡・相談は概ねできるが、たまに忘れることがある。	忘れることが多く、促しを要す。必要以上にすることがある。	自分からはできない。
	必要な時に適切な質問・報告(作業の終了、失敗等)・連絡・相談ができる。				

2	時間の遵守	作業時間、納期など時間を意識した作業ができる。	時間を守れないのは月1~2回程度である。	時間を守れないのは月3~4回程度である。	時間を守ることを意識できない。時間を守れない。
	時間(作業開始時間、締め切り等)を守る。				
3	準備・片付け・整理整頓	物を大切にし、準備・片付け・整理が、自発的にできる。	だいたいできるが、時に不十分なことがある。	言われないとできない。	できない。常に支援が必要である。
	作業場の準備、整理整頓ができる。				
4	作業意欲・積極性	どんな作業にも、自ら積極的に取り組む。	好きな作業は積極的に取り組む。嫌いな作業も取り組むが積極的ではない。	あきらめが早い。その都度動機付けを要す。	作業意欲は低く、最後までやり遂げようとはしない。
	作業に自分から積極的に取り組む。				
5	持続性・集中力	1日、周囲の状況に左右されず、集中し、安定した作業ができる。	だいたい持続性・集中力は継続するが、1日の作業の中で、1回程度右記の行動がある。	持続性・集中力は弱く、1日の作業の中で、2回以上右記の行動がある。	たびたび飽きて手休め、おしゃべり、離席などがある。
	作業への持続性・集中力はある。				
6	責任感	与えられた作業や当番などを最後までやり遂げる。	声かけがあれば作業や当番など最後までできる。	作業や当番などいい加減にしたり、ムラがある。	作業や当番など最後までやらず、注意しても改めない。
	与えられた作業や当番などを最後までやり遂げる。				
7	共同作業	役割を理解し、人と共同して作業ができる。	共同作業はだいたいできるが、たまに相手の動きに合わせるができない。	特定の人、特定の作業であればできるが、落ち着かない態度や和を乱すことが多い。	共同作業はできない。
	人と共同して作業ができる。				

V・その他

1	援助の依頼	困ったことがあると、知らない人でも援助の依頼ができる。	慣れた環境下であれば、援助の依頼ができる。	特定の人であれば、援助の依頼ができる。	自発的な援助の依頼はできない。
	困ったことがあると、援助の依頼ができる。				
2	服薬管理	適切な医療機関の受診、定時薬、臨時薬の服薬、管理が一人できる。	セットされてあれば、一人で決められたとおりに服用することができる。	声掛け、見守りがあれば服薬できる。	服薬管理はできない。
	決められたとおりに、適切な内服ができる。				
3	体調不良時の対処	うがいなど、病気の予防をすることができる。応急処置や受診などの対応ができる。	だいたい体調不良時に対処できる。	周囲に相談することはできる。	体調不良に気づかない。周囲に伝えることはできない。
	病気の予防や、医療機関への受診ができる。				

4	荷物の運搬	40kg程度の荷物を、安全に運搬することができる。	20kg程度の荷物を、安全に運搬することができる。	10kg程度の荷物を、安全に運搬することができる。	10kg程度の荷物を運搬することはできない。
	安全に荷物を運搬することができる。				
5	作業遂行の自立	指示内容を理解し、作業を遂行することはできる。能率が向上するよう、工夫できる。	だいたい指示通りに作業を遂行することはできる。	単純、反復作業は遂行できるが、確認を要す。	援助がなければ作業を遂行できない。
	作業を一人でやり遂げることができる。				
6	単独の移動範囲	一人で知らない所へ行くことができ、帰ってくるることができる。	慣れた場所であれば一人で移動することはできる。	単独の移動範囲は自宅周辺であるが、迷ってしまうこともある。	単独の移動範囲は自宅・職場(施設)内である。
	単独で迷うことなく、目的地へ行き、帰ってくるることができる。				
7	文字	文章を読み、理解することはできる。文章を書くことができる。	短い文章を読むことはできる。伝票、申込書、届などの記入はできる。	ひらがなで読むことはできる。手本があれば、書き写すことができる。	文字は読めない。文字は書けない。
	文字を正しく読み、書くことはできる。				
8	数量・計算	暗算もしくは電卓を使用して、正確に四則計算ができる。時計やカレンダーを理解している。	簡単な計算はできる。重さを計ったり、数をそろえることはできる。	数字の読み書き、数をそろえることはあまりできない。	数の概念がない。簡単な計算はできない。
	数字を理解している。計算ができる。				
9	パソコンスキル	ワード、エクセルなど、パソコン技能に関する資格を取得している。	資格は有していないが、簡単なワード、エクセル操作ができる。	パソコンを立ち上げ、打ち込みはできる。	パソコンは使用できない、経験がない。
	パソコンの操作ができる。				
10	迷惑になる言動	迷惑になる言動はない。	周囲に影響を及ぼすような言動が月に1~2回ある。	周囲に影響を及ぼすような言動が週に1~3回以上ある。	周囲に影響を及ぼすような言動がほとんど毎日ある。
	迷惑になる言動はない。				
11	余暇スキル	一人で余暇の過ごし方を組み立て、実施することができる。	一人で余暇時間を過ごすことがたいたいできる。	支援があれば、余暇時間を過ごすことができる。	一人で余暇を過ごせない。余暇の過ごし方が分からない。
	余暇を過ごすことができる。				
12	家族からの援助	家族からの積極的な援助・理解は得ている。	家族からの援助・理解をたいたい得ている。	積極的な援助はあまり期待できない(手続き・身元引受程度の援助はある)。	家族からの援助は期待できない。
	就労に向けた家族からの援助はある。				

13	共有スペースの利用	周囲に配慮ができ、適切に利用することができる。	多少こだわりはあるが、トラブルになることもなく利用することができる。	援助があれば、利用することができる。	混乱が見られ、共有スペースの利用はできない。
	共有スペースの利用はできない。				

【担当者所見】

【その他特記事項】